

新婚の若妻桃尻なつみ 変態の集まりとは知らずに町内会に引越しのあいさつに行くが
卑劣な罠にはめられ豊満なカラダを町内会のおじさん達に厭らしく調教され性感帯を開発してしまう。
独身のスケベ男、孤独な老人達の性欲処理の肉奉仕委員として日々を送るなつみ。ある日、町会長に
連れていかれた場所にはかつて人事部に勤務していた当時のなつみの主人桃尻課長にリストラされた事に
逆恨みの感情を抱き続けている男達が待ち構えていた。なつみを完全に支配できるように変態マゾの
痴女ボディにするために町内会が探し当てた情報だった。恨み続けた感情を押さえきれずなつみの豊満な
カラダではらそうとする男達。

若妻なつみ

町内会 肉奉仕委員

Vol.3

ブレイク D

.....
わかりました・・・でも、その人たちとは一度きりにしてください。お願い・・・

そうか、いい子だなつみ。少しだけの辛抱じゃ、だがやるからには厭らしくご奉仕するんだぞ
後で迎えに来てやるからもう、くひひひっ



男達は血走った眼でなつみの乳首やこんもりとした恥丘を凝視し、ここをこれからどうしてやるうかと想像して己の肉棒をギンギンに勃起させていく。服を脱がせて若妻のもっちりとした白いカラダを初老の男達が欲望の赴くまま撫でさすり揉みしだしていく。

お願いします！この事は主人には絶対に言わないで。お願いいいい・・・



男は膣の肉壁の奥まで時間をかけて丹念に塗り込まれた女陰を今度は指で広げ始めた。潤んだようにもんまりとした肉びらに指をかけて思い切り左右にむき広げられていく・・・たつぷりと蜜液があふれ出てくるなつみの恥ずかしい部分を内臓まで丸見えの状態にして膣口から肉奥まで厭らしい目で観察され、頼んでもいないのに卑猥な言葉でまるで手相を見るかのように解説されていく・・・

う～んっ今年で22歳になるそうだな奥さん、さすがにもっちりとした肌をしとるがこの熟女のように
むっちりとしたカラダに肉厚のオ●コ・・・さぞかし旦那とやりまくっと思ったが、穴の中はまだまだ
きれいなピンク色をしとる奥さん桃尻にあまりしてもらってないのかあ、もったいないぞう～奥さん。
おまえのカラダは淫乱の相をしとるぞ わしらのち●ぽでオ●コが赤むけになるまで犯りまくって女の悦びに
目覚めさせてやる、旦那よりもわしらのほうがいい～と叫ばせてやるぞ



おーっ
おおっ
う・うん
うん・うん
ふぐっ
んおぶっ

ひっひひ
おお・
おほお
く・くう
イっく
ううう

